



カンムリウミスズメ

門川町教育研究

ふれあい

平成19年6月 NO2
発行 門川町教育研究所
所長 斉藤 義輝
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)

研究所？

研究の成果は、この研究所便りや毎年2月に行われている町PTAみなさんは、「門川町教育研究所ってなに?」「どこで活動しているの?」と、さまざまな疑問をもたれたことはありませんか?

まずは、教育研究所のことをみなさんに知ってもらわねば、この「教育研究所便り」も読んでいただけないと考えました。今回は、教育研究所のことについて簡単にご紹介することにしました。

教育研究所っていつから始まったの？

- 平成11年4月に、門川町教育研究所設置条例が制定され、同年5月17日に開所式が行われました。ですから、今年で教育研究所が設置されて9年目に入ったところです。

どこで活動しているの？

- 現在は、五十鈴小学校内に「教育研究所」という一室があり、そこで活動をしています。

どんな人たちが活動しているの？

- 所長である斉藤義輝教育長先生をはじめ、安田隆憲 教育総務課参事さん、顧問の西門川中学校校長の甲斐昭児先生、指導員の山本逸馬先生のご指導をいただきながら、町内の各小中学校から1名ずつが研究員として任命され、活動しています。

いつ活動しているの？

- 月に2~3回、16時30分から、五十鈴小学校内にある教育研究所に集って活動しています。

どんなことを研究しているの？

- 平成11年の開所以来、主に「家庭教育」のあり方や、学力向上に関する研究を行ってきました。今年度は、「確かな学力を身に付けて、将来に夢をもってたくましく生き抜く子どもの育成」という研究テーマで研究を進めていくことになりました。6名の研究員が「教育研究班」「情報発信班」に分かれて、テーマに沿った活動をしています。研究の成果は、この教育研究所便りや門川町PTA協議会研究大会で紹介し、少しでも門川町の子ども達の教育に役立てばと思っています。

以上、教育研究所について、簡単に紹介しました。他にも、教育研究所に関する疑問や質問があればお寄せください。

次週予告

次号からは、子ども達の夢を支える企画「明日への一歩」(職業紹介)を連載していこうと思っています。こんな職業も紹介してほしいというご要望もお待ちしております。お楽しみに！

返信コーナー

「ふれあい」第1号には、2通の返信をいただきました。
ありがとうございました。まず、1通目は、……………

● **スポーツ少年団と学業の両立が心配です。**

というお便りでした。

☀ おそらく多くの保護者のみなさん（特に小学校高学年や中学校の子どもさんがいらっしゃる）も同じような悩みをかかえていらっしゃるのではないのでしょうか。特に、大きな大会後の月曜日の学校生活に影響が出ていないだろうか……とご心配のこと。

確かに、週末のスポーツ少年団活動の影響もあってか、月曜日に体調をこわしたり、欠席したりする子どももいますが、「自分で好きでやっていることだから、それを理由に勉強がおろそかになってはいけない」という親御さんやチームの監督さんから言われているとのことで、必死に眠気と戦う子ども達を見かけることもあります。精神面を支え、生活のリズムをできるだけ整えてあげることも大切かも知れませんね。町内の保護者のみなさんが、子どもの「スポーツと学業の両立」に関して家庭で大切にしていることを募集してみます。

2通目は、

● **息子さんの数学のテスト勉強を一緒にしました！**

というお便りです。

☀ 中学生の息子さんの中間テストに向けて、休日の午後、一緒に勉強されたそうです。わずかな時間だったようですが、「何でこんな難しい問題を出すっちゃうの。」と嘆きながら、励まし合いながら問題を解き、息子さんより先に問題が解けたときには、「母親としての地位を保てました！」とのこと。息子さんは塾には通っておられず、「勉強はやる気と努力で成果は必ず出る」と、日頃から話しているのだそうです。

息子さんは、数学が苦手なのだそうです。この時間はきっと、数学よりも大切なものになったのではないのでしょうか。そして、きとお母さんと解いた、「因数分解」は、息子さんの記憶に残るはずですよ。

すてきな親子関係ですね……………。

今後も支障がないように配慮しつつ、いただいた返信メッセージのいくつかは時々紹介させていただきたいと思います。どしどしご意見をお寄せください。お待ちしております。

キリトリセ

* 「スポーツと学業の両立」で工夫されていることや、連載企画「明日への一歩」で取り上げてほしい職業、その他ご意見ご感想もお寄せください。（担任まで）